

発行所 株式会社週刊住宅タイムズ

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-4 バビル

電話03-3234-2050 FAX03-3234-2070

問い合わせ: info@sjt.co.jp 情報提供: press@sjt.co.jp

## CFネッツ流

### 新・大家実践塾

「相続税を圧縮するには、不動産を買えば良いらしい。」とこのことがすっかり知れた。それに加えて、不動産投資自体が資産運用の一つとしてすっかり市民権を得ている……。以前から不動産投資を扱っていた者にとっては、由々しき事態である。ちょっと話は逸れるが、不動産仲介会社としての立場から話をしたい。

## 2 相続対策としての収益物件

「不動産投資のお客さまが増えることは良いことなんじゃない?」

案外そうでもない。

実のところ、以前から

「不動産投資適格物件の供給よりも不動産投資顧客の需要が多い」という状態は

変わりが無い。

い。このまま、

仲介会社は

「買値のある収益物件」を探すと

一番苦労しているのである。

もちろん、収益物件の情報はいくらでもあるので、片っ端から顧客に紹介していけば収益は上がる。

でも、不動産の購入を失

敗してしまつと、購入者の人生を狂わせてしまつほどの影響がある。仲介業者が

仲介手数料を得るために、

人の人生を食い物にするわけにはいかないのである。

モラルとしてだけではな

入したくなる。つまりリピ

ーターになっていただけ

のである。農耕民族的な不

動産業を営むことができる

し、そうでなければ一人ひ

たりじっくりとコンサル

ティングを行うことなんて

入する顧客はあまりいな

ったため、買

い手有利で話

を進められた

が、最近はその

つもいかな

なっている。

ついに

本社 〒248-0007

神奈川県鎌倉市大町1-20-30

く、良い物件を購入して頂けない。ちょっと話が逸れたが、自社の顧客が増えても、紹介できる物件が増えるわけでもない。むしろ、世の中とはほとんどなくなっている。以前と比べて収益物件の価格は上がつてしまつた。良い物件を購入することは

また、不動産投資の顧客がどこにもいるという状態によって、売り主との価格交渉も難しくなっている。以前は、他の不動産会社に行っても収益物件を購入するとは意味があるのか? ■鎌倉鑑定 小林雅裕 電話 0467-22-7772 ファクス 045-330-5773 携帯 080-4196-1167 メール bayashi@kkan-tei.com

うと、不動産業者の方も収益物件の取り扱いに慣れてきてしまったため、売却物件の値付けを間違えている。以前と比べて収益物件の価格は上がつてしまつた。良い物件を購入することは

http://ameblo.jp/kovamasa

## 投資ブームで価格上昇 税圧縮の妙味薄れる